

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年10月31日現在

概況 オレゴン州の2010年10月31日に終る1週間の気象は、平年より低い気温の湿潤気象が続いた。Willamette Valleyの最高気温は58~61度F、最低気温は33~39度Fであり、平均気温は平年を2~3度F下回った。同地区の1週間の降水量は1.63~2.49インチであった。9月1日からの積算降水量は平年を29~67%上回っていた。NC地区の最高気温は56~63度F、最低気温は30~34度Fで、平均気温は平年を1~3度F下回った。1週間の降水量は0.23~1.63インチであった。同地区の9月1日からの積算降水量は平年比で147%~290%であった。1週間の州平均農作業稼働日数は3.2日(前週:5.5日)であった。Topsoil及びSubsoilの水分は前週より更に改善し例年より極めて良い状態であった。2011年産冬小麦の播種は、例年より早く全州にて完了し、播種圃場の68%にて出芽した。出芽は昨年並びに5年平均より多少早い進展であった。NC地区のUnion郡では望まれていた降雨があり、小麦の苗立ちが改善した。Sherman郡では0.78インチの降雨を記録し、一部の圃場で同時期としては珍しく水分過多の状態となった。冬小麦の作柄は“Good”から“Fair”に落ちるものと“Excellent”に上がる小麦とが出た。低目の気温と土壤水分過多で作柄を落す小麦が出たが、全体として昨年より良い作柄と報告された。

土壤水分(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	10	77	13
	Last week	1	18	68	13
Subsoil	This week	1	20	77	2
	Last week	3	27	69	1

冬小麦の生育状況(*)

Spring wheat (%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Emerged	68	61	55	51

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	36	57	7
Last week	0	0	33	62	5
Last year	0	0	53	41	6

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

以上